

任意団体 たねと食とひと@フォーラム

地域の多様な種と食と農を守り育むための 普及啓発活動

イベントの 延べ参加者数	460 人
イベント参加者 の満足度	75%
活動の全体目標 に対する達成度	70%



遺伝子組み換え食品表示国際シンポジウム

◆成果と工夫したポイント

●成果

全イベントの参加者は460人。イベントの参加者にアンケートを実施したところ、提出者（参加者の65%が提出）のほぼ全員が、とてもよくわかった、またはだいたい理解できたと回答があった。

●工夫

イベントへ共催協賛を募った。多くの人にイベントに参加してもらうためSNS、広報紙で積極的に告知した。

課 題

遺伝子組み換えと生物多様性は、一般的に分かりづらいテーマのため、より多くの市民に分かりやすく伝え、関心をもってもらい賛同者を増やす。活動に担い手を増やす。

目 標

都市生活者と農業者が繋がり、連携した活動を行うことで、活動に参加した人が、食と農に関する問題について理解が進むこと。国内外の団体個人とのネットワークを広げること。また、活動の担い手を増やすこと。

活動内容

国際シンポジウム報告会を大阪で開催。東京で実施した国際シンポジウムに参加できなかった人への報告を兼ね、遺伝子組み換え（GM）と生物多様性について分かりやすく伝えるため、導入編として映画「パパ遺伝子組み換えってなあに？」の上映会とGM紙芝居を行い、食品表示について問題提起した。その後、科学的データに基づく健康被害の実態取材した映画「遺伝子組み換えルーレット」の上映を行った。参加者は73人。



国際シンポジウム
報告書

達成できなかったこと

都市生活者と農業者の連携した取組みについて、対象とする農業者の地元で、都市と農村の交流、地域活性化を目的とする組織作りに当会も加わり、準備と結成に取り組んだ。

今後の展望

上映会講座等の開催、調査活動、ウェブサイト、広報紙等を充実させ、分かりやすい情報提供を心がける。